

『牛君 ごくろさま』

～ 意識の消費者化 ～

毎日毎日、牛の群と化した消費者が
スーパーマーケットという名の牧草地で
棚から棚へと、

カッテージチーズやポップコーン、
ウイナーソーセージをガゴにほり込みながら
ペパーミントの草をかんでいる

小屋に戻り、疲れ果て、買い物袋を下ろしても
すぐさま子牛がその乳首にしゃぶりつくから
寒さに冷える足を温める時間の余裕など無い

牛でいることは楽ではない：
絶えず小屋は牛糞でまみれ、
太い尾で何度追い払ってもハエはやって来る

冬の間は、積まれた堆肥の中に立ちつくす
そんな苦勞をしてまで
あなたはハンバーガーの肉になりたいですか？

いったいマクドナルドの他に
誰が牛の一生を
素晴らしいと思えるのだろう

ティム: いろいろな意味で、消費者は 群集心理に影響される牛のように思えるな。

ティン: ええ、群れは簡単に操られますよね。

玲亜: もし、牛が自分の将来をちゃんと解れば、違った行動をとるかしら？

ミン: (冗談を言って、動揺しているふりで) なんと、まだ成人していなかったの？

- T Newfields (和訳: 吉田典子)

開始: 1988 年 名古屋市 ★・完成: 2016 年 新北市

